

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2602		
科目名	危機管理基礎演習Ⅱ		
担当教員	金山 泰介		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1001	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能 50% F1探求と論拠 10% H1論理的思考 10% H2批判的思考 10% I1理解・分析と読解 10% K1ライティングコミュニケーション 10%		
教員の実務経験	警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、危機管理において求められる状況把握及びその伝達能力の向上を指導します。(第2～6、13～15回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に属する諸問題について、学生が多様な観点と価値観とを持ち寄ってこれを集団的に検討していく過程で必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに4領域に属する危機管理系科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して問題を設定し、検討手法等を指導します。3年次以降の危機管理基礎演習における、より専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本科目では、危機管理上の諸問題の背景や原因の特定からはじめて、その解決に向けて集団的に研究を進め、その成果をプレゼンテーションによって表現することまでを行います。授業形態は、講義及び演習形式で行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）危機管理・集団的検討・危機管特殊研究への橋渡し		

授業の趣旨	■副題 危機管理における状況の把握、伝達能力を高める。 ■授業の目的 危機管理を実践するに当たって最も必要な要素である的確、迅速な情報収集能力を高めるため、理解力、観察力、分析力、表現力の各コンピテンスの開発を行うこと。 ■授業のポイント 研究資料の分析、課題作成に当たっては、メンバー一人一人の強みが発揮されるような効果的なグループワークの実施が重要。	
総合到達目標	■一般目標（GIO） 旺盛な関心をもって事実に向き合い、これを集団的な知見の統合を通じて観察、分析し、的確な報告書を作成できる。 ■個別行動目標（SBOs） ・ 犯罪捜査書類の種類及び作成上の留意点を説明できる。（第4～6回） ・ 基本的な報告書を作成できる。（第2、3回） ・ MSeXelを用いた作図ができる。（第8、9回） ・ 書類に基づき事件を再構成できる。（第13～15回）	
成績評価方法	■一件書類作成（70%）：適用ルーブリック E1・F1・H1・H2・I1・K1 （評価の視点） 報告書の目的に沿った内容となっているか評価します。表現力、文章の正確性も評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で講評します。 ■個別課題（30%）を総合的に判断する。：適用ルーブリック E1・F1・H1・H2・I1 （評価の視点） 授業への準備程度を評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で講評します。	
履修条件	警察制度履修者が望ましい。	
履修上の注意点	グループワークが中心なのでグループ内の意思疎通を十分図ってください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。クラスを4～5人ずつの班に分け、班長を決め、今後班単位で作業・学習を進めていく旨を確認する。また、公用文用字用語についてその意義を理解するとともに、当講義の進め方、何を学ぶか、評価方法について理解する。 ③予習（60分） シラバスの精読 ④復習（120分）テキスト所収の内閣訓令の精読
	2	①講義テーマ 報告書作成要領 ②授業概要 教員の実務経験に基づく実戦的な報告書作成要領（E）を理解する。（E1・I1） ③予習（60分）事前配布資料の精読 ④復習（360分）危機管理産業展を視察し、その報告書を作成する。
	3	①授業テーマ 報告書の検討 ②授業概要 各自作成した報告書を班ごとに発表、検討する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（I1・K1） ③復習（120分）班での検討を踏まえ、報告書を完成させる。 ④予習（120分）犯罪捜査手続きに関するテキスト該当部分の精読
	4	①授業テーマ 報告書の講評及び捜査手続き ②授業概要 提出された報告書について講評を受けた後、犯罪捜査手続き（E）を理解する。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1） ③予習（120分）捜査報告書、供述調書、実況見分調書について法的意義を確認する。 ④復習（120分）講評に基づき報告書を再構成する。
	5	①授業テーマ 捜査書類Ⅰ ②授業概要 捜査報告書、供述調書、実況見分調書の作成方法（E）を理解する。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1） ③予習（120分）総括捜査報告書及び逮捕状請求書について法的意義を確認する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、各書類作成のポイントを確認する。
	6	①授業テーマ 捜査書類Ⅱ ②授業概要 総括捜査報告書及び逮捕状請求書の作成方法（E）を理解する。教員の実務経験に基づき具体的に説明します。（E1・I1）

	③予習（120分） 犯罪捜査手続きと捜査資料の作成手順等を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを整理し、各書類作成のポイントを確認する。
7	①授業テーマ 捜査書類作成Ⅰ犯罪ドラマの視聴 ②授業概要 犯罪ドラマを視聴し、捜査資料の作成ポイントを検討する。（F1・H1・H2） ③予習（60分） 講義ノートの捜査書類作成産要領の確認 ④復習（240分） 犯罪ドラマのストーリーに従い、逮捕状請求書を作成するために必要な各種書類、捜査報告書、供述調書、実況見分調書等をどのように作成するのか、その案を作成する。
8	①授業テーマ 捜査書類作成Ⅱ ②授業概要 各自の捜査書類作成の案を検討し、作成すべき書類及び作成担当を決定する。（F1・H1・H2） ③復習・予習（240分） 割り当てられた捜査書類を作成する。
9	①授業テーマ 捜査書類作成Ⅲ ②授業概要 各自の捜査書類について、内容を推敲するとともに追加書類の有無を検討する。（F1・H1・H2） ③復習・予習（240分） 割り当てられた捜査書類の修正等する。
10	①授業テーマ 捜査書類作成Ⅳ ②授業概要 各捜査書類を全員で共有し、それぞれ、総括捜査報告書を作成に着手する。（E1・F1・H1・H2・I1・K1） ③予習・復習（300分） 総括捜査報告書を作成する。
11	①授業テーマ 捜査書類作成Ⅴ ②授業概要 総括捜査報告書に基づき各自逮捕状請求書の作成に着手する。（E1・F1・H1・H2・I1・K1） ③復習・予習（240分） 逮捕状請求書を作成する。
12	①授業テーマ ロールプレイの準備 ②授業概要 各自の総括報告を比較し、ロールプレイで用いるものを決定する。（E1・I1） ③予習・復習（240分） ロールプレイの準備
13	①授業テーマ ロールプレイ ②授業概要 班ごとに警察官役と裁判官役に分かれて、逮捕状請求のロールプレイを行う。裁判官役は、説明に基づき質疑を行い、逮捕状発布の可否を決定する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・H1・H2） ③予習・復習（240分） 講義ノートを整理しロールプレイの結果をまとめる。
14	①授業テーマ ロールプレイ ②授業概要 班ごとに警察官役と裁判官役に分かれて、逮捕状請求のロールプレイを行う。裁判官役は、説明に基づき質疑を行い、逮捕状発布の可否を決定する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・H1・H2） ③予習・復習（240分） 講義ノートを整理しロールプレイの結果をまとめる。
15	①授業テーマ 講評とまとめ ②各ロールプレイの講評を教員の実務経験に基づき行うとともに、講義全体のまとめを行う。（E1・I1） ③復習（120分） 講義ノートを整理し、講評の結果と自班の書類、ロールプレイを振り返る。
関連科目	危機管理特殊研究1～4(RMGT2601～4) 犯罪と捜査(RMGT3529)
教科書	「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房（2019） 「最新公用文用字用語例集」ぎょうせい（2010）
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限（重複を避けるためメールで連絡願います。）その他の時間でもメールで事前アポをとることにより、研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ（70%）災害マネジメント（10%）グローバルセキュリティ（10%）情報セキュリティ（10%） ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学（70%）法学（30%）



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.